

課題別研修

「農民主導による普及手法

～市場志向アプローチによる生計向上を目指した農民教育～」

対象国：バングラデシュ、モザンビーク、フィリピン、
ルワンダ、シエラレオネ、ザンビア

受入人数：9名

受入期間：2018年11月14日～2018年12月15日



開発途上国においては、いまだ「採れたものを売る」という場当たり的な生産が行われがちですが、本コースでは「売るためにつくる」ことへ生産者の意識を転換することが求められています。

今年度より開始された本コースでは、対象国の生産者が、消費者ニーズをとらえた生産活動を行うこと、それを支援する普及員が、生産者としてしっかりコミュニケーションを図ることができることにより、生産者の生計が向上することを目的としています。

普及員として母国で活躍する研修員たちは、普及員のあるべき姿について改めて考える時間を持ち、更に農業経営やマーケティング、六次産業化といった新しい観点から多くを学び、その結果を生産者のために活用することが期待されます。



北海道における農業普及職員の方々と、普及員の役割や、生産者との関わり方について語り合いました。



よつ葉乳業株式会社十勝主管工場さんでは、生産現場から加工、流通に至るまで、乳が衛生的に管理されている様子を学びました。



北海道帯広農業高校さんでは、学生自身が市場のニーズを踏まえた商品開発を行っていることを知り、若者教育の可能性に気が付くことができました。



大木ストアーさんでは、消費者目線を常に意識した経営哲学や、バイヤーとしての心得についてお話しいただき、研修員も深く共感していました。